

退任記念 堀口光彦展

彫金の魅力は鑿の痕跡の面白さにつきますと思います。金属の表面に一度つけられた鑿の跡は消し去ることは大変難しく、彫り損じた跡は傷となって最後まで残るのが常であります。「それを景色として活かせるようになれば、一人前の彫金家だ。」とは私が学生の時の教授、山脇洋二先生の教えでした。そんな事を学生に伝えつつ制作した在任中の作品60余点を展示します。彫る、打ち出す、嵌めるという彫金の基礎要素を使いながらも、出来るだけ自由な表現を心がけてきました。

会期 2006年11月2日(木)～11月19日(日)
開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日 毎週月曜日
会場 東京藝術大学大学美術館 陳列館
入場料 無料
主催 東京藝術大学美術学部 東京藝術大学大学美術館
問合せ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
<http://www.geidai.ac.jp/museum/>



花 1993

堀口 光彦 略歴

1939 山梨県塩山市生まれ
1964 東京藝術大学美術学部工芸科卒業
1966 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程工芸(彫金)専攻修了
1966 東京藝術大学美術学部工芸科彫金研究室助手
(71 非常勤講師 76 助手 86 講師 90 助教授 94 教授)

個展

1978 第七画廊(東京)
1984 村松画廊(東京)
1992 渋谷西武(東京)

展覧会

1969 現代工芸美術展大賞
1970 日展特選
1972 現代工芸美術展文部大臣賞
1977 日展特選
1979 二人展(フォルム画廊) ('88)
1987 東京藝術大学100周年記念教官作品展(有楽町アートフォーラム)
1995 東京藝術大学工芸科教官作品展(東京藝術大学陳列館)
2000 Loft of Alchemist展(ギャラリー・プス) ('02, '04, '06)
2003 「工芸の世紀」展(東京藝術大学大学美術館)
2005 大邱大学校国際交流展(大邱大学美術館)/日韓交流展(ハンガラム美術館)

パブリック・コレクション

東京国立近代美術館, 千葉県立美術館, 東京藝術大学大学美術館
九州産業大学美術館, 甲府第一高等学校



Selfportrait on Sunday 1980

展覧会についてのお問合せは下記までお願い致します。

Tel: 050-5525-2438 Fax: 050-5525-2532 E-mail: takebaya@off.geidai.ac.jp